

親水性スッキリフィルムのお買い上げありがとうございます。

スッキリフィルム施工手順

息を吹きかけると曇る面又は水を掛けると水玉になる面が不要になるセパレーターフィルム側です。(本体とセパレーターの2枚構造)剥がしにくい場合は、セロテープを両面に貼ってゆっくり剥がしてください。接着面が出てきます。

お風呂の鏡の場合 (A3サイズ程度まで)

- ① スッキリフィルムを鏡のサイズより2ミリ程度小さ目にカットして下さい。
- ② スッキリフィルムを施工する前に、鏡の表面を綺麗に清掃して下さい。
※しつこい水垢が付き白くボケている時でも、水を掛けた直後には綺麗に見える状態であれば、そのままスッキリフィルムを施工しても問題ありません。スッキリ見えます。(うろこ状がひどい場合は、カミソリやカッターなどで簡単に取り除いてください。※取れる汚れの上に施工すると剥がれる事があります)

施工液の作り方 水 1 リットルに対し中性洗剤(食器用)を 2~4cc(小指の爪程度)入れて施工液を用意して下さい。

- ③ 「スッキリフィルム」のセパレーターフィルムを剥がし、接着剤面と鏡面に施工液を掛けて下さい。
(スッキリ面が分かりにくい場合は、息を吹きかけてください。曇りの多い方が不要のセパレーターです。又は水を掛けて水玉になる方が不要のセパレーター側です。)
- ④ 素早く接着剤側を鏡に貼り付けて下さい。(この時、鏡面は親水状態)
※位置合わせ時に動きが悪い場合は、洗剤が不足しています。洗剤を増やしてください。
※逆に動き過ぎる時は、洗剤が濃すぎますので、水を掛けて下さい。
(水分が乾く前なら再施工が出来ますが、ゴミが付かないように注意して下さい)
- ⑤ 付属のプラスチックスキージーで、「スッキリフィルム」の中心から外側へ向かって軽く水抜きをして下さい。次に不要になったセパレーターを表面に被せ(傷防止)、今度は力を入れスキージーで水分を端へしごきます。(この時施工液を表面にスプレーするとスキージーが滑りやすくなります)

注意点

接着面部分はなるべく触れないようにして下さい。施工中に指で触れますが、この時は常に綺麗な手と濡れている状態がベストです。

大きい鏡やガラスの場合(又は枚数が多い場合)

施工の基本は小さいものと変わりがありますが、大きくなると扱いに手間がかかります。

施工スプレーが必要(園芸用スプレー等)

施工液スプレーの作り方

- 市販のスプレーボトルに水 1 リットルに対し中性洗剤(食器洗い用)を 2~4cc(小指の爪程度)入れてよく混ぜてください。
(別売りの施工セットの場合は、500CC のペットボトルの水に対し、施工液をキャップ2杯程度入れてください)
- フィルムのすべりが悪い時は、洗剤の量を増やしてください。
- 洗剤の量が多すぎると、フィルムが動きすぎて施工に時間がかかり、その後の接着が弱まります。

注意点

- スキージーが弱いとガラスとフィルムの間水玉が残ることがありますが、数日後には自然乾燥してなくなります。
(ゴミや気泡は自然と消えません。大きな気泡は早めに針で穴を開けて圧着すれば目立たなくなります)
- 曲面への施工は、しわの部分をドライヤーで温めて下さい。(3次曲線のきつい場合は困難になります)
- 施工直後(水が乾く前)であれば貼り直しができます。(糊面にスプレーしながらゆっくりと剥がします)

お手入れは、柔らかいスポンジやタオルで水洗いして下さい。

ブラシや、たわし等は使用しないで下さい。

※貼り替えなどで糊残りが有る場合等は、市販のシールはがし剤を使用して下さい。(¥100 ショップ等でも販売されています)

※親水性が弱くなっても水垢防止はまだ続きます。